

誓約書

私は、秦野市個人事業者等支援給付金の交付申請に当たり、次の内容について誓約します。この誓約に違反したことにより、不利益を被ることになっても、異議は一切申し立てません。

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、平常時と比較して事業収入が減少している事業者の事業継続のための支援である趣旨を十分に理解し、申請書その他提出書類に記載した情報に偽りがないこと。
また、虚偽・錯誤等により支給要件を満たさないことが判明した場合は、給付金の返還等に応じること。
- 2 県の「新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金」及び「大規模施設等に対する協力金」の対象外である事業所を有していること。
- 3 令和3年6月から9月の間において、次のいずれも給付対象となっていないこと。
 - (1) 国の月次支援金
 - (2) 県の酒類販売事業者支援給付金
 - (3) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による売上減少を対象とした給付金等
- 4 申請時点において、事業を継続する意思を有していること
- 5 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（昭和23年法律第122号）第2条第5項に規定する「性風俗関連特殊営業」又は当該営業にかかる「接客業務受託営業」を行う事業者ではないこと。
- 6 政治団体、宗教上の組織若しくは団体ではないこと
- 7 代表者、役員又は使用人その他の従業員若しくは構成員等が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）のうち次のいずれにも該当せず、将来にわたって該当しないこと。また、経営にも事実上参画していないこと。
 - (1) 同法第2条第2号に規定する暴力団
 - (2) 同法第2条第6号に規定する暴力団員
- 8 破産法（平成16年法律第77号）第18条又は第19条に基づく破産手続き開始の申立てをしていないこと。
- 9 初めて本給付金を申請し、今後重複して申請を行わないこと。
- 10 秦野市から検査・報告・是正の措置の求めがあった場合は、これに応じること。

令和3年 月 日

法人名 又は 屋号

代表者職・氏名

㊞
